

中国ハンセン病快復者村で

熊本県立大学2年 井芹 和幸

世界貧困地帯支援組織「家族」の代表、井芹和幸さん（采温泉団地）。熊本県立大学に通う大学生です。井芹さんは、昨年5月に「家族」を結成し、活動を行ってきました。そしてこの夏には、同じ志を持つ大学生の仲間たちと中国湖南省を訪れ、ハンセン病快復者の支援に取り組んでいます。これは、その模様をリポートしたものです。



村人と井芹さん（写真中央）



セメント袋を運ぶ学生

彼らは、元気だろうか。何をしているのだろうか。村のことが頭にうかぶ。

8月10日から20日にかけて、海外で貧困改善や差別解消に取り組む学生任意団体F I W C九州が主催する中国湖南省ハンセン病快復者村のワークキャンプに参加した。広東省広州から夜行列車で10時間、バスで4時間乗り継いで村へと向かう。村は新緑が生い茂る山々に囲まれ、棚田が広がる美しい風景。

人口12人、年齢70歳、村人は手足が不自由で農作業ができないため、村の周りの人に土地を貸し、収穫量の30%をもらい生活している。その他に、省政府から毎月援助金が少々と自家製の薬草を売り収入を得ている。村ではかまどで火をたく、昔ながらの生活だ。トイレは共同で外にあるが、壁が傾き、いつ崩れてもおかしくない状況だった。村に通じる数本の橋は腐りかけ、渡るたびにきしきし音を立てる。事前に写真で見た以上に危険だった。

キャンプインすると、早速ワークが始められた。重いコンクリートを運び、レンガを積み重ねる。村には機械が入らず、すべて手作業だった。しかも、ワークの計画づくりから作業まで学生のみで行なう。ワークは村人の生活に関わる、服の裁縫、薬草干し、薪切り、心のケアなども含む。



出来上がった橋の渡り初め

ある日、おじいちゃんが言うてくれた言葉が忘れられない。「国境なんて関係ない。日本人も中国人もみんな盟友だよ。」言葉の壁を越えて彼らと「ツナガリ」を持った。彼らは孫のようにわたしたちを可愛がり、わたしたちも中国語でおいちゃん、おばあちゃんと呼んで慕った。

キャンプ後半、コンクリートを流し込んだ橋やレンガを300個近く積み上げたトイレ、大木を切り、細かくカットした薪の山、続々とワークは完成した。同時に別れの時も来た。涙があふれて止まらなかった。たった11日間だが長年暮らしたような濃い思い出がたまっている。村人はいつも素敵な笑顔と優しい言葉をくれた。わたしはこの出会いを一生忘れない。



素敵な笑顔がありがとう

この経験を一言では語れないという井芹さん。中国での現状を目の当たりにしたとき、それが、ひたすらワークに取り組む原動力となったようです。

便利な生活に慣れている日本の若者たちが中国の中でも不便とされている村に入り、生活させてもらいながらそのお返しをする。互いに支えあいながら調和していく。わたしたちが忘れていている大事なものがそこにはあったようです。

この経験を通して村人との間にできた堅い紐が少しずつ広がり、いつか大きな輪となつて日本と中国、そして世界をひとつに結ぶきっかけとなることを願います。

第60回人権週間 12月4(木)～10日(水)

問い合わせ先 人権啓発教育課 ☎242-1190

「世界人権宣言」は、基本的人権と自由を尊重し確保するために、世界のすべての人々とすべての国々とが達成すべき共通の基準として、1948年12月10日の第3回国際連合総会で採択され、本年で採択60周年を迎えます。

法務省と全国人権擁護委員連合会では、「世界人権宣言」採択の日の12月10日を最終日とする1週間(12月4日から10日まで)を「人権週間」と定め、人権尊重思想の普及高揚に努めてきました。今年は「第60回人権週間」として、次の事項が定められています。



第3回人権フェスティバル

人権週間に併せ、「合志市人権フェスティバル」を開催します。

- と き 12月6日(土) 午前9時15分～
- ところ ヴィーブル
- 内 容 子どもの発表 大人の発表 展示コーナー 体験コーナーなど

重点目標 平成20年度啓発活動重点目標

「育てよう 一人一人の人権意識 -思いやりの心・かけがえのない命を大切に-」

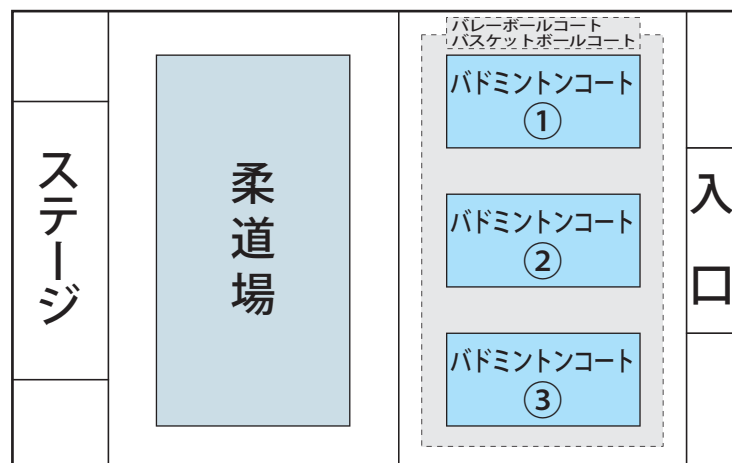
- 女性の人権を守ろう
- 子どもの人権を守ろう
- 高齢者を大切にすることを育てよう
- 障がいのある人の完全参加と平等を実現しよう
- 部落差別をなくそう
- アイヌの人々に対する理解を深めよう
- 外国人の人権を尊重しよう
- HIV感染者やハンセン病患者等に対する偏見をなくそう
- 刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう
- 犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
- インターネットを悪用した人権侵害は止めよう
- ホームレスに対する偏見をなくそう
- 性的指向を理由とする差別をなくそう
- 性同一性障害を理由とする差別をなくそう
- 北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう
- 人身取引をなくそう

西合志体育館の予約・受付が変わりました

問い合わせ先

生涯学習課 スポーツ振興班(ヴィーブル) ☎248-5555

- * 予約受付はヴィーブルと御代志市民センターで行ないます。
- * 予約受付基準日は毎月1日です。基準日はヴィーブルで受付を行ないます。市内者は2カ月先、市外者は1カ月先まで予約できます。
- * カギは御代志市民センター(ヴィーブルも可)での借用・返却となります。詳しくは窓口でお尋ねください。
- * 開館時間と休館日は、他の市民体育館と同様です。



施設区分		市内者(1時間)	市外者(1時間)
バドミントンコート	1面	100円	200円
バレーボールコート		300円	600円
バスケットボールコート		300円	600円
柔道場		300円	600円
全館		600円	1,200円
全館(体育活動以外の使用)		1,200円	2,400円